



第3回 学校運営協議会 開催

2/10 に、本年度、第3回目の学校運営協議会を開催しました。今回の主な内容は、右記のとおり大きく四つです。



主な内容

- 1 「進路指導」の取組 について
- 2 今年度の「学校評価」について
- 3 次年度の「学校運営の基本方針」について
- 4 意見交換

1 「進路指導」の取組について

【進路指導部長による説明】

- ①進路指導の概要
- ②進路決定までの流れ
- ③地域(企業、福祉)との連携
- ④進路情報の提供
- ⑤進路状況
- ⑥現状と今後の課題

【意見】

- ・卒業後、円滑に障害福祉サービスの利用を開始できるよう、在学中から、本人、保護者への適切な情報提供を計画的に行うことが必要である。
- ・一人ひとりの進路実現に向けて、教育・福祉等の一層の連携が必要である。

2 今年度の「学校評価」について

【教頭による説明】

- ①学校評価の目的、実施内容等
- ②保護者アンケート、自己評価の結果
- ③意見交換

【質問】 スクールバス内での児童生徒の心理的な安定の工夫は？

【回答】 ①子どもに寄り添った言葉掛けや促し等

②環境面の工夫

③介護員、委託介護員との細やかな情報共有や研修機会の設定

【意見】 校外学習中での保護者宛メールについて、委員在籍校での取組についての紹介

3 次年度の「学校運営の基本方針」について

校長による 説明	主な説明内容	理由等
	①学校の教育目標の文言変更と、その理由や背景について	・障害の重度化や多様化へ細やかに対応するため。 ・背景:「社会参加モデル」への転換、共生社会、ウェルビーイング
	②目指す児童生徒像、学校像、教師像の文言変更や追加について	・学校の教育目標との整合性や教育目標の具体化 ・追加:教師のやりがい、協働
	③次年度の重点目標について	・主に下記の三つを踏まえ、目標を設定した。①学校評価結果、②学校運営協議会の内容、③特別支援教育の充実に向けた方針

【意見】

・情報発信を細やかに行うことは大切である。学校 HP は多くの情報を掲載できるが、学校からの発信に偏りがちである。双方向のアクセスを考えれば、SNS 利用も考えてもよいのではないかな？

【回答】

・現在、本校では SNS による情報発信は行っていない。県内特支校では、数校のみが実施している。今後の検証をもとに検討したい。

・保護者との細やかな双方向のやりとりを推進するため、また教職員が子どもと向き合う時間を確保するため、現在、連絡帳の電子化に向けた調査を県外を含め多方面で実施している。ニーズや時代に合わせ、柔軟かつ適切な手段を検討していく。

4 意見交換

「教師がやりがい」をもち「協働」を進めるには、個々の職員の意識が大切。

地域交流を進めるため、保護者から直接御意見を伺いたい。

次年度実施するイベントに国特音楽部の参加依頼を検討している。

学校からの依頼に対して、積極的に動くつもりである。相談してほしい。

これまでの交流では、「静かに」「座って待つ」という活動が多かった。「元気に」「動く」交流になるよう見直したい。

貴重な 御意見

制服を着て挨拶をすると、周囲に受け入れられるが、卒業し制服を脱いで挨拶すると、途端に怖い人と受け取られる。地域に障害のある人がいることを認めてもらうことが大切。

卒業生や保護者をまとめるような仕組みがあれば、地域参加を推進しやすいのでは？

移動手段に課題があるが、本校のクラブ活動での交流は、実現できるのではないかな。

本園幼児は、国特との交流を喜び、楽しみにしている。幼い頃から接する機会を設けることは双方にとって大切。

学校運営協議会事務局より

・今回の意見交換は、発言の中に委員の思いや考えが表れ、さらに具体的な提案も含まれ、とても有意義な内容でした。委員の皆様の深い御理解や御協力のおかげで、子どもたちの今と今後に関する課題を少しずつ共有でき、今の充実と今後の広がりや豊かさに向け、何ができるか何を行うべきかを熟慮をもって協議できるようになってきました。今後も、御指導や御意見をいただきながら、取組を拡充していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。